

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費 [高齢者虐待防止地域ネットワーク事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号	4			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	高齢介護		課		高齢福祉		係	課長名	伊野宮 崇		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進							総合計画書 (ページ)	51			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市内在住の65歳以上の方				市内65歳以上の高齢者数(令和2年4月1日)						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
地域の関係機関の連携協力体制の整備のため、地域における高齢者虐待防止のためのネットワークの形成し、高齢者の尊厳の保持及び高齢者の安心した生活の確保ができる環境を構築する。				→							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
高齢者等虐待防止地域ネットワーク運営会議を開催し、高齢者虐待対応の実施状況等の報告や事例検討を行い、情報共有を行う。				→							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	22,711	22,902	23,062					
	成果指標	②の数値	団体	20	20	20					
	目 標	②の目標値	団体	20	20	20	-		-		
		目標値設定の考え方 より多くの関係機関との連携を維持して高齢者の尊厳の保持及び高齢者の安心した生活の確保するため、目標値を設定した。									
活動指標	③の数値	回	2	2	0						
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円								
		特定財源(国・都・他)	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人								
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円								
		職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	0	0	0						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成19 年度								
	(2) 環境の変化		高齢者人口の増加、虐待件数の増加等により、事例件数が増加、多様化しており、きめ細かい対応を行うことが難しくなっている。								

事業名称	高齢者日常生活支援事業費〔高齢者虐待防止地域ネットワーク事業〕				
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ	取組手法：			
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし。				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） なし。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は会議を開催することができなかった。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 集合形式の会議の開催が困難な状況が続く見込みであるため、書面会議やオンライン会議の実施を検討する必要がある。				
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
	9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 集合形式の会議の開催が困難な状況が続く見込みであるため、書面会議やオンライン会議の実施を検討する必要がある。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 市における会議開催方法の検討及び委員との調整が必要になる。					